ＥＡ８１８Ｅ－８　ロータリーカッティングヘッド　取扱説明書

アメリカ

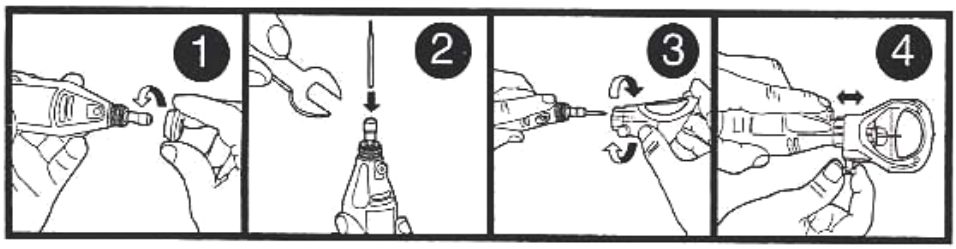
このたびは当商品をお買上げ頂き誠に有り難うございます。ご使用に際しましては取扱説明書をよくお読み頂きますようお願いいたします。

〈取り付け方法〉
カッティングヘッドにはφ１．６㎜の目地除去ビットが付いています。
目地が１．６㎜以上の場合はのφ１．６㎜のビット、３．２㎜以上の場合は別売りのφ３．２㎜のビット（ＥＡ８１８Ｅ－１５）をおすすめします。
注：ビットがタイルの間のスペースよりも広いと、タイルやビットを痛めます。

Step 1）グラインダー本体からハウジングキャップを取ります。
Step 2）グラインダー本体に目地除去用ビットを取り付けます。

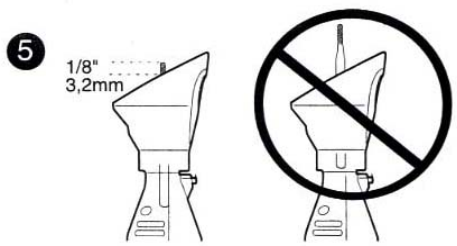
注：別売りのＥＡ８１４Ｅ－１４、ＥＡ８１８Ｅ－１５のビットを取り付ける時はコレットのジョーにビットがしっかりとはまっているか確認して下さい。コレット内でビットが緩まないようにコレットナットをレンチで締めて下さい。

Step 3）カッティングヘッドをグラインダーに取り付けて下さい。
Step 4）希望の位置にカッティングヘッドとビットを調節して下さい。



〈切断深さ調節〉
切断深さの調節方法は2通りあります。ビットの位置を調節するかあるいは、カッティングヘッドの調節です。
深さ調節はスライド部にある目盛も参考にして下さい。

・切断の深さをセットする
目地の除去：
タイルの表面から３．２㎜以上の深さで目地を除去しないで下さい。
カッティングヘッドとビットを調節して、カッティングヘッドから３．２㎜以上出ないようにして下さい。
図５参照

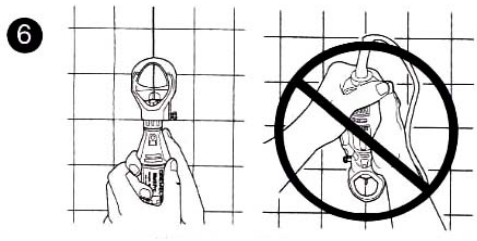


〈壊れたタイルを交換するのに目地を取る〉
破損したタイルの周りの目地を全部取ります。カッティングヘッドのベースからビットが３．２㎜以上出ないようにベースを調節します。（図５参照）一度に３．２㎜以下の深さで目地を取り除きます。
カッティングベースの目盛りを調節しながら深さ調節し、目地を除去するまで何度もなぞります。

⚠ 警 告
目地のラインに、より深くビットを差込んで目地を取るときは、隠れている物（ネジの頭、モーター、タイルのセメントあるいは釘）に突き刺してしまい、ビットが動かなくなり、オーバーヒートしたり壊れたりします。
グラインダーのスピードを下げて、ゆっくりと作業して下さい。
ネジや釘に当たった場合は、ビットがそれらを切断しないように周りの目地を取って下さい、

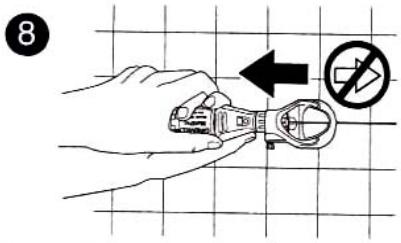
〈操作方法〉

注意：作業者の方向に常に引いて下さい。
ビットを押すと壊れる可能性があります。
下図のようにグラインダーを持ち、ビットを真上に向けます。
図6参照



縦方向に動かす場合は、グラインダを下に引いて下さい。上に押さないで下さい。
図7参照

横に動かす場合は、作業者の方にグラインダーを引いて下さい。
作業差者から遠ざけて、押さないで下さい。
図8参照



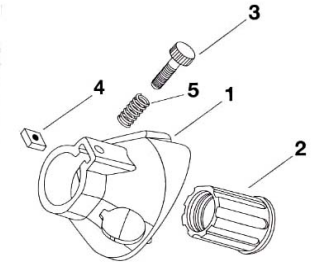
目の保護のため作業時は安全メガネを着用して下さい。

回転速度15．000～20．000r.p.mで使用して下さい。
あるいは、ビットへのダメージを避けるためにスピード3にセットして下さい。
2スピードマイクログラインダー(EA818EC)はスピードを“LOW”にして下さい。
ビットに無理に力を加えたり、グラインダーの後部に圧力をかけたりしないで下さい。
作業対象物に応じて回転速度を合わせて下さい。

⚠ 目地除去の安全注意事項

保護メガネとダストマスクを付けて下さい。
ビットの損傷を点検して下さい。
ビットを取り付けたら、無負荷の状態で1分回転させて下さい。ダメージのあるビットは割れる可能性があります。ビットの前やそのライン上には立たないで下さい。
ロータリーカッティングヘッドは常にカットする面に対して平らに置いて下さい。
ガイドカットする面にしっかりと位置づけて作業するとコントロールしやすくなります。

目地に差込むビットの方向は重要です。目地のライン上を通して引いて下さい。
ビットは目地を掘り起こすものではありません。誤った方向にグラインダーを差込むとビットのコントロールができなくなります。



1. 角度ハウジング
2. スライド部
3. 止めネジ
4. スクエアーナット
5. スプリング

株式会社エスコ　本社／〒550－0012 大阪市西区立売堀3－8－14
TEL(06)6532－6226　FAX(06)6541－0929